



さあ、どうする？

今日で高校生活最初の一週間が終わりになる。月曜日開始の「初」高校生活だったので、結構長いなあ～と感じただろうか、それともアツという間だったろうか。ちなみに担任としては、色々やらなければならない仕事があって、長～い一週間であるなあ…というのが正直な感想であるが。

そんな一週間の後半は、本格的な生活の第一歩が始まったわけだが、「学級日誌」の記事から振り返ってみよう。

▼4月11日(水) ●●

話がたくさんあったので頭のどこかにおいておきます。テストはとても疲れました。もっと勉強しておけばよかった… ↷

☆15ルーム → むかで

▼4月12日(木) ●●

初めての授業、頭が常にフル回転でした。英Iの教材の多さ、数学のハイペース、校舎の…(保戸塚注：多分書きかけ…笑)

☆むかで → デンマーク

*

昨日の放課後の「2012 部活オリエンテーション」はどうだったろう？

最初、生徒会から計画が発表された時に、どの部活も持ち時間が2分しかないとのことなので、実は私は「面白くないのではないかとあまり期待していなかった。しかし、いざ始めてみると、最初から最後まで笑いっぱなしであった。

ほとんどの部・同好会が、2分間という短い時間をうまく利用して自分たちの存在を上

手にアピールしていたし、そのアピールの中にも、それぞれの部のキャラクターがよく表れていたと思う。

サッカー部の見事な？踊り、ラグビー部の男臭さ、弓道部のシャキッとした雰囲気、それぞれに見応えがあったし、柔道部の寸劇はいつものパターンでありながら役者が演技上手、ゲームの仮想空間をイメージした剣道部の工夫も面白かった。そして、某予備校の宣伝をもじった水泳部には、もう笑いが止まらなかった(個人的には、これが一番おもしろかった…)。ダンス部やオケ部・合唱部は、少人数ながらさすがのパフォーマンス。地下系(本人たちは「地下部」と言っていたが…)は、それぞれ実験やクイズなどを採り入れ、派手さはないが「なるほどね～」という感じの紹介になっていた。演劇部の発声はさすがだったし、茶道部の浴衣姿や、芸大の先生に教えていただける邦楽部に興味を持った人もいるに違いない。

そして、どの部・同好会も、互いのことを考えて、ちゃんと2分という短い制限時間を守っていた。大変立派なことだと思った。

*

こういう紹介を見ていると、それぞれの生徒諸君が、それぞれの部活を心から楽しんでいるんだなあということがよく伝わってくる。そして、こういう姿こそ、私たち「大人」には決してまねのできない姿なのである。それは君たちにも伝わったことだろう。

さあ、君たち、どうする？